

十勝川かわまちづくりに関する活動について

- ・十勝川サロルンリムセ

令和3年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録

第3回 十勝川サロルンリムセの開催

日 時	令和3年7月10日（土） 12：30～14：00
場 所	千代田堰堤展望公園
内 容	旧千代田パークホテルの解体後の景観が一新された千代田展望公園で、道内各地のアイヌ文化保存会に参加して頂いて、第3回十勝川サロルンリムセを開催しました。同時開催を予定していた「十勝いけだ屋市」が新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となってしまいました。 十勝川中流部市民協働会議はこの活動のサポートとして参加しました。 第3回十勝川サロルンリムセは、（公財）アイヌ民族文化財団の助成を受けて行っています。
ス ケ ジ ュ ー ル	12：30～12：33 主催者挨拶（十勝川サロルンリムセ実行委員会 小川哲也 委員長） 12：33～12：43 来賓挨拶（十勝川中流部川まちづくり協議会 村田政宣 氏 とかち池田屋 細川征史 氏） 12：43～12：50 演舞団体の紹介 12：50～13：55 鶴の踊りの披露（阿寒アイヌ民族文化保存会、札幌ウポポ保存会、 平取アイヌ文化保存会、帯広カムイトウウポポ保存会） 13：55～14：00 閉会挨拶



小川哲也氏から開会の挨拶
（実行委員長）



村田政宣池田副町長からの挨拶
（十勝川中流域かわまちづくり協議会）



細川征史氏からの挨拶
（とかち池田屋）

阿寒アイヌ民族文化保存会による伝統舞踊



タクサの舞



サロルンリムセ



フッタレチュイ



ヘクリサラリ



ク リムセ

札幌ウポポ保存会による伝統舞踊



フチトノト（酒運びの踊り）



ハンロー（大地を踏みしめる踊り）



ポンチカププリムセ（小鳥の踊り）



エムシリムセ

平取アイヌ文化保存会による伝統舞踊



ハララキ（湿原で遊ぶ鶴の踊り）



ク リムセ



アンナホーレ（鳥の踊り）



ハララキ（大空を舞う一羽の鶴の踊り）

帯広カムイトウウポポ保存会による伝統舞踊



ク リムセ



サロルンリムセ



パッタキウポポ



ポロリムセ

新聞記事

十勝毎日新聞 2021年(令和3年)7月12日(月曜日)



サロリンリムセを披露する帯広カムイトウウボガ保存会のメンバー

無病息災やツルの舞

アイヌ4団体 華麗に

池田

【池田】池田町の千代田堰堤(えんてい)展望公園で10日、「十勝川サロリンリムセ(ツルの踊り)」実行委員会(小川哲也委員長)によるイベントが開かれ、アイヌ民族の伝統舞踊が披露された。十勝川を背に、総勢50人以上でツルの舞などを披露した。

イベントには、帯広カムイトウウボガ保存会、阿寒アイヌ民族文化保存会、平取アイヌ文化保存会、札幌ウボガ保存会の4団体が出演。主催者を代表して小川委員長があいさつ。十勝川中流域かわまちづくり協議会代表の安井美裕池田町長に代わり、村田政宣副町長が「十勝川サロリンリムセが歌い踊り継がれ、夏の風を表現した。」

帯広保存会は「サロリンリムセ」で同じくツルの舞を披露。「バツタキウボガ(バツタの踊り)」では帯広以外の出演者も参加し「バツタキウボガ(輪踊り)」では出演者らが輪をつくり、盛り上がりを見せた。

アイヌの伝統舞踊を初めて見たという帯広市の伊藤理江さん(37)は、すこし心地よいリズムで踊っていて、楽しそうだったと話した。同時開催を予定していた十勝いけだ屋平市は新型コロナウイルスの影響で中止となった。(三川彩乃)

北海道新聞 2021年(令和3年)7月14日(水曜日)



各地のアイヌ民族 美しく舞う

■池田

アイヌ民族の舞踊の祭典「十勝川サロリンリムセ(ツルの舞)」が10日、千代田堰堤展望公園で開かれ、道内4地域から集まった約50人のアイヌ民族が各地の舞踊を披露した。

最初に阿寒アイヌ民族文化保存会(釧路市)が魔を払う「タクサの舞」で会場を清め、続く「ツルの舞」では親ツルが子に飛び方を教える様子を表現した。

札幌ウボガ保存会は「フチトノト」を披露した。これはフチ(おばあさん)がつえをつき、吹雪の中を道を確かめながら、隣村の長老ヘトノト(酒)を届ける

内容の踊りだという。同保存会はまた、魔よけの「エムシリムセ(剣の舞)」＝写真＝なども美しく舞った。

平取アイヌ文化保存会(日高管内平取町)に続き、最後は帯広カムイトウウボガ保存会。かつて十勝で大発生したバツタの被害を伝える踊り「バツタキウボガ」などで締めくくった。(椎名宏智)



十勝毎日新聞(2021/7/12)

北海道新聞(2021/7/14)

令和3年度 アシリチェブノミ開催について

